

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成20年8月号 (第62号)

大阪府内各市の議員定数

	市町村名	人口 20年6月	条例 定数	議員1人あ たりの人口
1	大阪市	2,650,421	89	29,780
2	堺市	835,381	52	16,065
3	東大阪市	508,060	46	11,045
4	枚方市	406,256	34	11,949
5	豊中市	388,218	36	10,784
6	吹田市	354,971	36	9,860
7	高槻市	354,287	36	9,841
8	茨木市	272,380	32	8,512
9	八尾市	272,038	32	8,501
※10	寝屋川市	238,866	28	8,531
11	岸和田市	200,059	26	7,695
12	和泉市	179,687	26	6,911
13	守口市	146,206	22	6,646
14	門真市	129,389	22	5,881
15	箕面市	127,406	25	5,096
16	大東市	125,823	17	7,401
17	松原市	125,251	20	6,263
18	富田林市	121,824	20	6,091
19	羽曳野市	117,858	20	5,893
20	河内長野市	113,932	20	5,697
21	池田市	104,700	24	4,363
22	泉佐野市	99,865	21	4,755
23	貝塚市	90,476	20	4,524
24	摂津市	84,093	23	3,656
25	交野市	77,916	17	4,583
26	泉大津市	77,771	18	4,321
27	柏原市	75,539	18	4,197
28	藤井寺市	65,761	18	3,653
29	泉南市	64,820	20	3,241
30	高石市	60,125	17	3,537
31	大阪狭山市	58,384	16	3,649
32	四条畷市	57,377	16	3,586
33	阪南市	56,593	20	2,830
	計	8,641,733	887	9,743

私は、平成一八年九月定例議会から、毎回議会で「議員定数の見直し」を取り上げ、その必要性を訴えてきました。

粘り強い取り組みの結果



これからも「市民の目線で」頑張ります

六月一六日〜七月三日に開かれた六月定例市議会で「次の選挙から議員定数を四人削減し、一八人とすること」が決定しました。

また、平成一八年十二月議会では、同僚議員と三人で「議員定数を四人減らす」内容の議員提案をしました。が、選挙が間近に迫っていたこともあって、残念ながら

よじやく実現しました！ 議員定数の見直し

ら実現しませんでした。「市民の目線」を大切に
今回「議員定数の見直し」

来年度の新規職員を募集

— 社会人、身体障害者の採用も

平成二一年四月採用予定の「寝屋川市職員採用試験」が近づいてきました。

来年度の採用予定は事務職一九名（大学卒一一名、短大・高卒三名、チャレンジャー社会人四名、身体障害者一名）、建築職一名、保育士

兼幼稚園教員三名、保健師一名の計二四名です。

受付期間は、持参・郵送の場合は八月二九日から九月八日まで。（※インターネットでの受付は八月二五日から九月一日まで）

詳しいことは、市役所人事室にお尋ねください。

消防職員も募集

また、消防吏員の募集も行います。来年度の採用予定は三四名です。

受付期間は、八月二九日から九月八日まで。

詳しいことは、枚方寝屋川消防組合人事課にお尋ねください。

六月定例市議会での

山さんの一般質問(Q&A)

私は、六月二六日に行われた六月定例市議会的一般質問で、次の主旨の質問を行いました。
(前号のつづき)

三・ごみ行政について

【山さんの質問】

本年四月から古紙古布の分別収集をスタートしたが、いま地域では、ごみステーションに出された古紙古布など資源ごみの持ち去り行為に対して様々なトラブルや苦情が発生している。市は、古紙古布の分別収集と資源ごみの持ち去り行為についてどのように考えているのか。

【理事者答弁】

ご指摘の古紙古布などの持ち去り防止対策については、持ち去り業者への指導と警告のため、四月からクリーンセンター三課により

早朝パトロールを実施して対策に努めています。

【山さんの質問】

大阪府内では、すでに五市で条例を制定して「持ち去りの禁止」などを明確にしているが、本市では条例化について、どのように考えているのか。

【理事者答弁】

条例化については、古紙古布の分別収集開始からまだ数か月しか経っていない状況なので、今後更に持ち去り行為などの実態把握を進め、条例化を行って自治体の効果を見極めながら慎重に検討していきたいと考えています。

四・幼児虐待死事件について

【山さんの質問】

本年二月、寝屋川市内で六歳の女の子が母親の内縁男性からの虐待を受け、意識不明の重体となって病院に運ばれたが、四日後に死亡するという大変痛ましい事件が発生した。

市は再発防止等についてどのように考えているのか。

【理事者答弁】

まず再発防止策として、本年四月に職員一名を増員し、相談体制の充実を図ったところです。

また、大阪府と連携を図りながら、安全確認、チェックシートの活用による判断基準や、関係機関との情報の共有化、研修等による職員に資質の向上を図るなど、具体的な取り組みを進めているところです。

今後も更に府との連携強化をしながら、虐待の未然防止・早期発見・早期対応に努めてまいります。

山さんのコラム

伸一ちゃんの三輪車

六三年前の八月六日も暑い日だったそうです。午前八時一五分、広島に原爆が投下され、一瞬にしてたくさんの尊い命を奪い去りました。

鉄谷伸一ちゃんは三輪車が大好きでした。あの朝も爆心地近くの自宅前で、三輪車に乗って遊んでいました。その時です。ピカッと光り、一瞬にして伸一ちゃんと三輪車は焼かれてしまいました。

お父さんは、たった三歳の子を一人でお墓に入れると寂しがるだろうと思いい、死んでもからでも遊べるようにと、伸一ちゃんの亡骸と三輪車を一緒に、そのまま自宅の裏庭に埋めたのです。

そして四〇年後、お父さんは伸一ちゃんの遺骨を掘り出してお墓に納めました。そして、伸一ちゃんの遊び相手だったこの三輪車を広島平和記念資料館に寄贈したのです。



分別した古紙古布・アルミ缶などの資源ごみは市と市民の大切な財産です。